

笑顔いっぱいの運動会

副校長 芦垣 康志

先日の運動会は心地よい初夏の風を受けながら子どもたちは思い切り体を動かすことのできた一日となりました。練習の成果を発揮して見ている人を楽しませることができたこと、勝利を目指してみんなで気持ちを一つにできたこと、最後まで気持ちよく走り切れたことを感じた子どもたちからは笑顔がこぼれ、活動する姿はたいへん輝いて見えました。

今年の運動会は高学年の子どもたちが係活動をがんばった運動会でもありました。保健、用具、一年生のお世話、得点等、子どもたちが運動会を自分たちの手で運営する形にしました。高学年がきびきびと行動することで運動会全体が引き締まりました。低学年の子たちにとって何年かたったら私も…僕も…ああなりたいなと思える姿を高学年の子どもたちが示してくれたことはこれからの学校生活でプラスになることと思います。

運動会に向け練習する期間は約 2 週間でした。その中で子どもたちは演技や競技の動きを身に付けるのはもちろんのこと、演技、競技に参加する態度についても学びます。先生方は無理のないようにできる範囲で取り組んでいくことを確認しているものの、より良い姿を目指して指導にも熱が入ります。子どもたちはそれをしっかり受け止め、真剣に練習を重ねていました。練習が進むにつれ、友だちの動きに合わせてたり、前後の列が整うよう調整しながら動いたり全体の上向きを考えて動けるようになります。自分だけでなく、周りのことを考え行動する力が育っていきます。友だちと一つの目標に向かってがんばること、がんばろうとする気持ちをもてるようになること、集団で活動する楽しさ、自分がその一人であることの嬉しさを感じることが出来ます。運動会の取組を通した子どもたちの育ちは大変大きいと感じます。

コロナ禍の中で迎えた 3 回目の運動会、毎年その時の状況にあわせた六浦南小の運動会を探ってきました。これからも運動の楽しさを味わい、友だちと一緒に活動することの楽しさを感じることが出来る取組にしていきたいと思えます。さて、6 月は水泳学習が計画されています。職員一同、安全で、楽しい学習となるよう準備を進めていきます。引き続きご家庭のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。